

祝！萩野小学校開校100周年

本来であれば歴代教職員・卒業生・地域の方々などを招待し、盛大な記念式典を行うところですが、今年は新型コロナ感染拡大防止に配慮し、式典には現六年生と一部教職員、お世話をになつた地域の方、PTA役員の少人数の参加とし、五年生以下在校生は各教室でのリモート観覧参加となりました。式典では開校百周年記念事業協賛会の小嶋会長はじめ、戸田康彦白老町長、前萩野小学校校長の手塚琢先生などが動画で祝辞を贈り、これまでの百周年を祝い、これからまでの萩野小学校の未来に期待を寄せました。

大正十年（一九二一年）、敷生尋常高等小学校特別教授場として開設されたのが萩野小学校の始まりです。百年の歴史を経て、今年度開校百周年記念式典が行われました。



中庭だったところにあった噴水。昔は水の中に金魚が泳ぎ、年に何回かは休み時間に水に落ちる子がいました。今は撤去待ちよつと寂しい！



各教室でのリモート観覧の様子。
全学年、素晴らしい姿勢で静かに観覧しているのが印象的でした。



開校100周年記念誌 「萩の里」

広報部では百周年協賛会の記念事業として記念誌作りに携わらせて頂きました。作成当初より新型コロナの影響で記念式典には人をあまり呼び難い状況が想定された為、せめて記念誌では卒業生、歴代教職員、地域の方々も萩野小学校の百年の歴史の中での様々な思い出にふれて懐かしんで頂ければとの思いがありました。ただ、ここでもコロナの影響で部員が集まり編集作業を行うこともあまり出来ず、一番苦労された（と）いうか（ほぼまとめて上げた）のは加藤教頭先生です。先生、ありがとうございました。

百年の歴史で残っているもの、なくなつたものの、思い返す区切りとしての百周年、懐かしさとちょっとした切なさを感じる記念誌になつていいと思います。



リモート授業参観



教室の様子を複数台のカメラで撮影
教頭先生が映像をスイッチしてくれました

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、昨年度から中止していた参観日を、今年度は「感染症対策」と「保護者との連携」の両立を目指した、リモート形式での参観日が開催されました。

各学年と学級、時間と日にちをずらし、子どもたちが教室で授業を受けている様子を、カメラを通して体育館に中継し、ステージの大スクリーンに投影させ、それを保護者が参観するという、新しい取組に挑戦していました。

1:35 / 3:40



一年生

算数『〇のたしざんとひきざん』

算数の一斎授業の様子でした。1年生になってから、リモートとはいって初めての参観日です。子どもたちの、緊張しつつも頑張っている姿は、画面越しにも伝わってきます。音声があまりクリアではなく、聞き取れないところもありましたが、一年生全員が、45分間きちんと座って先生の話を聞いている姿を見るだけでも、感慨深いものです。最後に手話の歌『believe』も披露してくれました。1年生、みんな可愛い！！



二年生

生活科『えがおのひみつたんけん隊』

生活科の授業で、事前にグループに分かれて三河金物店、町立図書館、本田新聞販売所、白老駅に見学学習に行って学んできた内容を、紹介してくれました。自分たちで撮影してきた写真を、全児童に配布されたタブレットを使って発表していました。子どもたちはタブレットをすっかり使いこなしている様子です。2年生にとっても、入学してから初めての参観日です。緊張している子もたくさんいました。画面が少し暗くて見づらいところもありましたが、自分の子どもの番には、直接パソコンからみせてもらうことで、頑張っている姿を確認できました。

こぶし1

一年生

算数『数の学習』

人数が少ないので、こぶしプレールームで実施し、直接参観が出来ました。綿棒を使って数を数えるなど、操作を通して数の概念を学習していました。教えやすいように並べて、数えられたたら先生に伝える等、ゲーム性を持たせて楽しく賑やかに取り組んでいました。



こぶし2

五年生

算数

『小数点のわり算』

小数点の位置に気を付けながら女子2人の力を合わせて商を導きました。

六年生

算数『立体の体積』

表面積を求めてしまえばあとは高さをかけるだけ、、、「あ！そうだ」とひらめきの声をあげながら次々と問題を解いていました。子どもたちはいつもより数段張り切って学習していました。



四年生

総合的な学習の時間

『アイヌ文化についてしらべよう

・コンピューターを活用しよう』

一人ひとりが興味を持ったアイヌ文化の題材を、タブレットでインターネット上の情報や画像を集め、グーグルスライドというソフトを使ってまとめたものを、一人ずつ発表してくれました。テーマが同じでも、一人ずつ着目する点、興味を持つところに個性が出ていました。また、画像やスライド効果など、みんなに伝わりやすくなるような工夫を色々取り入れていて、見ているだけでとても勉強になりました。4年生、見ないうちにすっかり大人になっていました。



授業中です



三年生

理科『物の重さをくらべよう』

グループに分かれて、はかりを使って実験し、数値を記録したり、事前に予想していた数値との違いや結果について、意見を発表していました。各グループとも、みんなで意見を出し合いながら、楽しく取り組んでいました。体積という新しい概念を、実際に目で見て、体を使って、体験しながら学習することで、スムーズに理解出来ていたようです。友達の意見を聞いて、自分が気づかなかつた発見が出来るところが、グループ学習の良い所だと思いました。

六年生

国語『冬のおとずれ』

冬の二十四節気の意味を、ペアで話し合った後、クラス全体で確認していました。また、冬を感じる言葉を一人ずつ考え、それをグループ内で発表し、最後は全体で意見を出し合っていました。自分一人で考える、隣の人とペアで考える、小グループで考える、全体で考える、と内容によって色々なパターンで考える時間を作ることで、自分の意見だけではない気づきや、他の人の考え方や感じ方の違いなどがわかる学習内容だったと思います。お互いの意見を尊重しあう、良いきっかけになる授業だったと思います。



五年生

算数『たし算・ひき算の筆算』など

テレビモニターに映された画面を見て数唱や時計の読み方に取り組み、自信を持って大きな声で元気よく答えました。また、ノートに自分で筆算などの問題を解いていき、先生がそばにいなくても、「できるよ！」と自分の力で解き進めました。最後に木製ビーズを使って色や形、数を数える学習に取り組みました。子どもが楽しく集中できるよう学習が組み立てられていました。



五年生

算数『割引前の元の値段を求めよう』

割合の学習の応用問題に取り組んでいました。まず自分で問題を解いた後、グループに分かれて解き方を確認し、グループごとにホワイトボードにまとめて、代表者が発表していました。各グループで話し合い、みんなの考えを一つにまとめる様子は、どの子も成長が感じられました。最後に同じ考え方を使って、確認問題を解いていましたが、日常生活に即した問題だったので、買物場面でも役立ちそうで良かったです。

参観後にはQRコードを使ったGoogleフォームのアンケートもあり、萩小と保護者間のやりとりのIT化も進んできています。

今までの動画のデータ配信との違い、画像や音声の質、カメラワークやリモート形式に合う授業形態など、まだまだ課題もあるかとは思いますが、新しい取り組みに挑戦すること、そして今回やってみて今後はどう改善させていくのか考えることは、今後も先生方と保護者との連携が欠かせないのでないかと思いました。工夫して取り組んでくれた先生方、リモート参観日の開催ありがとうございました！